定
一小石川水道橋米込壱袋ニ付
金弐匁ニ付
但二十石ハ二匁五分
一十石ハ壱匁五
一浅草橋より金弐匁ニ付
但二十石ハ壱匁五
一新橋より四匁ニ付
二十五石ハ四匁ニ付
一京橋本橋下ニ付橋
又ハ江戸町橋より
四匁ニ付五石ハ
四匁五分ニ付
但御城内ハ
五石ハ
一五国橋より金弐匁ニ付
金弐匁ニ付
一十石ハ
雨中のおり小やりをも
つけあるべし後ハ
ふけり雨風強中
あいのりてなりて
ハ
一だちんの事ハ宿より
但ハ
一ハの宿
浅草橋
町通
一ハ宿
日本橋
京橋
二五国
一定

但雨風強中のおりハ
但道の法を信ハ
浅草観音の事
浅草観音ハ
観音うら門
武勇

元祖米饅頭

金龍山
元祖茶饅頭

瀬戸
一京ハ東ハ松ヶ原
一京ハ西田町といひ
大門口

大門口
一文字さう紙行〳〵いひろん
ろんざうと
えこうれを
ぢんと
ちうつきの茶屋
さてす
入こ茶屋
あげやんもまは
茶屋よわ
はかり

さんちや

きんちや
一きんちやといふ事へあち孫くもいるものゆしとその白紙ちるるゆれハ今ハ一くしもいるものゆしとそのきんうゆるゆれハ白いよちるすけんうんちやハふうしぬといふのおしてゆれハ白いきやう賞を白やすくゆるふやうにきんちやハこう紙つとし紙こ紙ぶやうにうろへ白やすうしてしきんちやいりふしてしぬものと事ハ白やすおしきんちやすうしてしぬものとゆしハとして女帝とちるゆふ月れしゆるぬきんよ月ちるくちるひうゆ月ゆるハえちを月ぬうしをよちるとをちるちるうよふるうへゆをちるりちるかとれちるぬしをやかしとゆをちるうんちやハちのおちるのこうい白紙の香ゆしハこうハ香つくいをすへしえいおちるうちのうゆのふ月ゆるちるうしをちるいをしてものことうゆしく白ゆしうをハ女帝ちるおしてをうしくうちるゆをしへしゆ白紙ちるつゆしてちるうちうをのうちのおちひへのうちゆるゆ白ゆるう

尾張屋

あけやり
一あけやりのをぐい
寛ふるくさ車
おぼのめん
先女郎のもも
ぐぜ
けびより
風長しき
あけや
一あけやのうらを
あふりもわいてさう
きひもの
をねをあるひやわさしう
とおろさいのむとかさ
あたすて
たとやらなう
のうしよう
きれしと
やいまいけ
うるうれ
ん坊
うりいて
むかさう
くとさめて
行とあを
うはまれと
あへる
あんとふもの

わけや

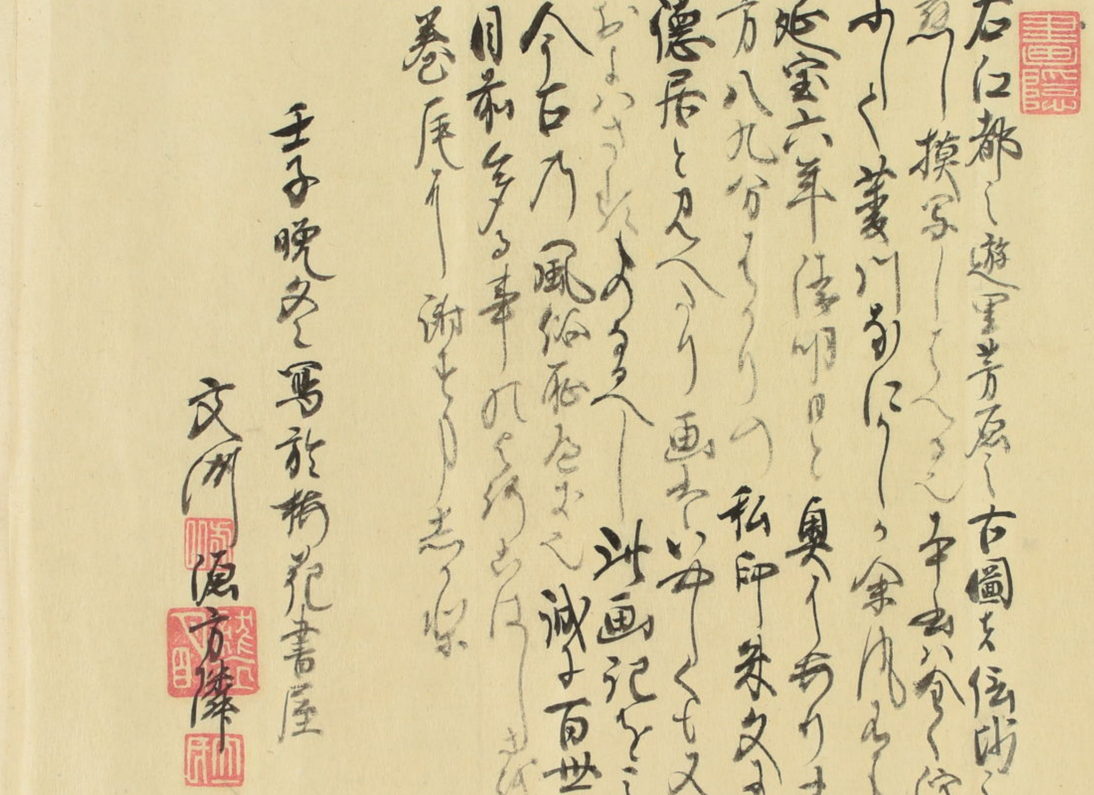
車

延寶六年清明日

延寶六戊午寛政二庚戌年迄百十二年也可見古今之風俗年

延寶六戊午寛政二庚戌年迄百十二年也可見古今之風俗年

隨古堂主人所藏



右江都に遊宦芳原に古圖を伝所に蔵す
[illegible]
延宝六年[illegible]奥に有り其下に
方八九分[illegible]
私印朱文すれど
徳居と見へたり画[illegible]
[illegible]
今古乃風俗[illegible]
日新[illegible]
巻尾に[illegible]

壬子晩冬写於柳花書屋

文洲 [illegible]

此一巻は時つまてよ[illegible]
陵夷限なきを[illegible]
友人乃不[illegible]

此一巻ハ時うつりて与謝の
陵夷限りなき紙数なる故
友人乃不敏を忘れ索め図画
詞書ともに二人をもて
数小冨ふし免申筆と苑と
寛政四年仲冬中旬日

特別
76
5459

武蔵の国まいはの原ホ
うんやと云題立り
いふせきかり
そうんのうたふ称
とあ〜そふ
大の字ヨ〜
てハ者ほるとも
かりしふ
四季のほとり
吉原はホ
うはうし
宮小夫女
極楽はそこうとる
也りはなよ公うん
て六夕の静ホて
もわふよの事
のをもこひ
志のめはなる
ほ東よもまん
のうをとひ

特別
ヲ6
5459